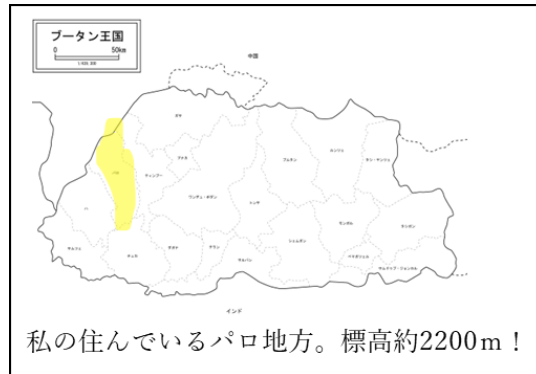


ブータン便り (vol.1)

2022 年 11 月にブータン王国に派遣された花里さくらです。

農業機械公社（FMCL）という団体に、マーケティング職種で配属されました。

今後 2 年間、農作業で使用する機械や、自社農場で生産された農作物に携わります。



もともと転勤族の為、佐久市で過ごした期間は短いのですが、故郷の方々に読んで頂けたら嬉しいです。というのも、私のいる西部地方は佐久と似ている気候で、山に囲まれ、冬は霜が降り、乾燥した気候、、ここは志賀？とよく錯覚します。

本題に入る前に少しだけ自己紹介を！

幼いころから引っ越しが多く、長野・インドネシア・愛知・東京等と様々な場所で生活をしてきました。実は 5 年以上同じ場所に続けて住んだ経験がないのですが、佐久東小には 4 年間在学し、20 年近く経った今でも繋がりのある友人がいる大切な思い出になっています。

大学卒業後は、ストッキングメーカーで営業を、その後転職し専門商社でボディケア商材のマーチャンダイジングをしていました。

新型コロナウイルスで生活スタイルが変化する中、30 代をどう過ごそう？と漠然と悩んでいたところに、ブータンの要請を見つけ、「幸せの国…行きたい！」と思ったのを覚えています。



今回は人と言葉について！

■まずは人、日本人ととても似ているなあと思いませんか。

実は私はここにきてから、街中で日本人？と聞かれたことはほとんどなく、毎回初めましての時には現地語で話しかけられ、「ブータン人かと思ったよ！」と驚かれています。本当に毎回です。

ブータンの人はとても親切で、私が外国人だとわかると「ブータンはどう？楽しい？困っていることはない？」と必ず聞いてくれます。実際困っている事を相談すると、すぐ関係者に電話してくれて解決！というパターンがとても多いです。

海外でよく遭遇するぼったくりやスリもほとんど無く、平和さにびっくりするほどでした。

というのも、国に仏教が根付いている事が理由の1つなのかなと思います。

宗教についてはまだ勉強中なので、また今度まとめて書きますね。



同僚とのご飯会にて



お昼休みの同僚たち

■言葉はゾンカ（語）。マルチリンガル率が高い！

言語はゾンカが公用語ですが、地方に行くともた異なる言語が話されています。日本でいう方言のように「語尾が変わる」という物とは異なり、それぞれ全く違う単語を使っています。

地図からもわかる通り、インドやネパールなどの隣接国の TV や音楽を聴いていることから、ヒンディー語やネパール語も理解できる方が多いです。

また、学校教育で英語が取り入れられているため、若い人のほとんどは英語が話せます。

そのため、人によってはゾンカ・地域言語・英語・ヒンディー・ネパール等 5 か国語以上を操る人もいます！会話の途中で様々な言語が出てくるので、とても器用だなと興味深いです。

渡航して 4 ヶ月が経ちますが、未だにホームシックにならないのは人と言葉に助けられているからかなと感じています。

今後もブータン便りを通じて、ここでの生活をお伝えしていきたいと思います。

ではまた数か月後に！

3 月 15 日ブータンにて 花里さくら